

「SCB ふるさと応援団」寄附金贈呈について

この度、一関信用金庫(理事長 千葉一郎)は信金中央金庫(理事長 柴田弘之)が実施する企業版ふるさと納税制度を活用した地域創生推進スキーム「SCB ふるさと応援団」に、一関市が実施する地域創生事業「地域づくりモデル事業交付金事業」を推薦し、その結果、信金中央金庫から一関市へ寄附金が贈呈されることとなりました。

一関信用金庫は、本事業により一関市と連携して地域の抱える課題に取り組むことで、社会課題の解決(SDGs)と地域経済社会の発展に貢献してまいります。

記

<「SCB ふるさと応援団」について>

信金中央金庫の創立70周年を記念して行われる地域創生推進スキームでSDGs(持続可能な開発目標)を踏まえ、信金中央金庫が企業版ふるさと納税等を活用した寄附を行うことにより、地域の課題解決および持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を信用金庫とともに応援し、地域経済社会の発展に貢献することを目的として創設した制度です。



<寄附額>

10,000,000 円

<対象事業について>

[目的]

地域課題の解決に取り組む地域協働体の活動を支援し、これまで以上に地域協働体の自主的、主体的な取組を促進するため、モデル事業として、地域協働体を選定して交付金による事業の支援を行うものです。

[事業の内容]

- ①防災マップの作成
- ②「三升漬け」の商品化
- ③多世代間交流イベントの実施等

以 上

●本件に関するお問い合わせ

総合企画部 (TEL 0191-23-6111)